

2018年（平成30年）9月12日（水曜日）



奥羽・羽越新幹線 早期事業化要望

フル規格へ、県内5組織

県奥羽・羽越新幹線整備
実現同盟（会長・吉村美栄

石井啓一国交相（中央左）に
要望書を渡す吉村美栄子知事
（同右）

東京・霞が関

子知事）と県内4地域の新
幹線整備実現同盟会が11
日、フル規格の奥羽、羽越
両新幹線の実現に向け、山
形新幹線福島県境部のトン
ネル整備の早期事業化など
を国土交通省とJR東日本
に要望した。

国交省には吉村知事をは
じめ、実現同盟を構成する
県議会、県町村会、県経営
者協会、県観光物産協会、
やまがた女将会と、4同盟
会の代表らが訪れ、石井啓
一国交相に要望書を渡し
た。

吉村知事は、山形新幹線

に関し、昨シーズンは大雪
で12〜3月にかけて102
本が運休・遅延し、1日当
たりの運行本数32本のうち
運休・遅延が31本に上った
日もあったと指摘、「防災
対策上、山岳地帯である県
境部のトンネル整備が奥
羽、羽越両新幹線早期実現
のためにも最重要課題と考
えている」と訴えた。

石井国交相は「まずはJ
R東日本と整備の在り方を
十分検討してほしい。それ
を踏まえ、国としてどうい
う支援が可能か勉強してい
きたい」と答えた。

要望の後、取材に応じた
吉村知事は「地方創生、将
来の山形県の発展を考える
と、日本海側にも太平洋
側と同じフル規格の新幹
線を整備することが必要
だ。それが日本全体の発展
にも資すると思う」と語っ
た。